

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月 日

協議会名: 加西市公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダーシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
加西親栄自動車(有)	コミュニティバス「はっぴーバス」の運行 5系統 ・万願寺線①② ・若井線① ・芥田線①②	・フリー降車制度の周知活動の実施 ・高齢者、運転免許返納者及び子育て世帯に対する運賃無料化施策の実施 ・総合時刻表の作成・配布	A	(目標) 7,500人 > (実績) 5,833人 コロナ禍における利用者の減少に伴い、事業が計画に位置付けられた「従前の移動状況に対する目標」を達成できていない点があった。しかし、生活交通であるため、コロナ対策を万全に行い、減便することなく住民の足を確保することができた。	地域の運営受託NPO法人が実施する配食サービスに合わせはつぴーバスのPR活動を実施するとともに、高齢者等への訪問活動やシェアクラブでの広報を引き続き重点的に行う。 また、地域内の小学校とSDGsに関する学習を通して交流を図り、利用促進に向けた取組を共に検討していく。
			A	(目標) 19,700人 < (実績) 20,107人 コロナ禍であったが、減便することなく運行を行った結果、事業計画に位置付けられた目標を達成した。	
神姫バス(株)	コミュニティバス「ねっぴ〜号」の運行 6系統 ・市街地線①〜② ・国正線 ・九会線①〜③	・高齢者、運転免許返納者及び子育て世帯に対する運賃無料化施策の実施 ・総合時刻表の作成・配布 ・主要バス停、待合所へのデジタルサイネージの設置	A	A	令和3年4月からバスロケーションシステムを導入し、主要バス停、待合所にデジタルサイネージを設置した。今後も乗降の多いバス停に整備していくことで、安心して乗車できる情報発信を行う。 また、国正線が走る宇仁地区においては、地域主体型交通「宇仁ふれあいバス」が令和2年10月より運行し、隣接する日吉地区でも、「日吉地区乗り合いタクシー」が令和4年3月から運行を開始した。今後は、国正線と地域主体型交通とを組み合わせ、地域の移動困難者の解消に取り組んでいく。
			A	A	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月 日

協議会名：	加西市公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内ファイダーシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	加西市の公共交通は、市のほぼ中央にある北条町駅を中心に放射状に広がっており、北条鉄道(南～南東方向)、地域間幹線の路線バス(北西、東、南、西方向)、タクシーによる移動と北条町を東西方向に通じている中国自動車道を高速バスが京阪神・津山を結んでいる。これらを補完する住民の市内の移動手段として、コミュニティバスを運行しているが、住民の公共交通利用は5%と低い一方で、住民の3割と推計される気軽に自動車を利用できない方(70歳以上の高齢者・運転免許がない・世帯に自動車がない)の日常生活における移動手段の確保を課題と捉えている。 平成29年度策定の加西市地域公共交通網形成計画に示す基本理念「みんなでつくる地域に根付いた人と人をつなぐ公共交通～誰もが外出しやすいまちをめざして～」を掲げ、目指すべき公共交通サービスの実現に向け、計画に示す施策、事業を実施することで、気軽に自動車を利用できない住民の日常生活における移動手段を確保し、地域内の住民の交流を促進することで、住民の生活の質の向上と地域の活性化を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）

令和5年1月 日

協議会名：加西市公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域公共交通調査事業（計画策定事業）

①事業の結果概要		②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
【事業内容】 ・加西市の公共交通をとりまく現状把握 ・現行計画の評価 ・公共交通をとりまく現状と課題の整理 ・次期計画の方向性の検討 ・公共交通の目指すべき姿に向けた施策・事業の検討 ・地域公共交通計画の作成 ・協議会開催 【結果概要】 ・令和3年10月、令和4年7月に実施したコミバス等利用者アンケート調査、令和4年7月に実施した高齢者アンケート調査などの結果をもとに、地域公共交通計画における課題を整理した。 ・新計画期間内で実施する施策、計画における目標等を整理のうえ、加西市公共交通活性化協議会を開催し、協議した。 ・協議会の開催回数 全5回 ・策定部会の開催回数 全8回 ・本地域公共交通計画（素案）については、パブリックコメントの実施（2月中旬～3月上旬予定）を経て、最終的にとりまとめる。		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施される見込み	本計画に基づき、 ・地域主体型交通の導入推進 ・企業等との連携や社会情勢の変化に応じたバス・鉄道の利用環境改善 ・送迎負担の軽減に向けた取組 ・交通結節点の整備 ・北条鉄道でのICカードの導入に係る施策等を実施する。 また、令和6年度地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統・地域内フィーダー系統）の活用を見込んでいる。

加西市公共交通活性化協議会（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

【地域特性】

（人 口） 昭和 61 年度の 53,056 人をピークに減少し、令和 4 年 9 月末では 42,396 人になっており高齢化率は 34.3%となっている。

（産 業） 加西市総生産額 2,365 億円 (R1) のうち、第二次産業、特に製造業が 58.6%を占めている。市内には 4 か所の産業団地等があり、大規模事業所も立地しているが、従業員 10 人未満の事業所が市全体の約 80%を占め、中小事業所を中心とした「ものづくりのまち」である。

【加西市地域公共交通網形成計画（H30～R4 年度）】

（基本理念）『みんなでつくる地域に根付いた人と人をつなぐ公共交通

～だれもが外出しやすいまちをめざして～』

（基本方針）・ みんなが利用しやすい公共交通網の構築

・ 利便性の高い公共交通結節点の整備

・ 地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進

（計画の目標）

クルマを気軽に利用できないなど公共交通を必要としている人の移動需要に対応するため、市民・交通事業者・行政の三者が連携して網形成計画に示す施策事業を実施することで、「ネットワーク」「ダイヤ・本数」「運賃」「車両」「駅バス停環境」「情報」の 6 要素において利用しやすく、受益と負担のバランスのとれた持続可能な公共交通サービスの構築をめざす。

公共交通ネットワークのイメージ図

※別添「加西市公共交通マップ」

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

【路線評価の基本的考え方と評価基準】

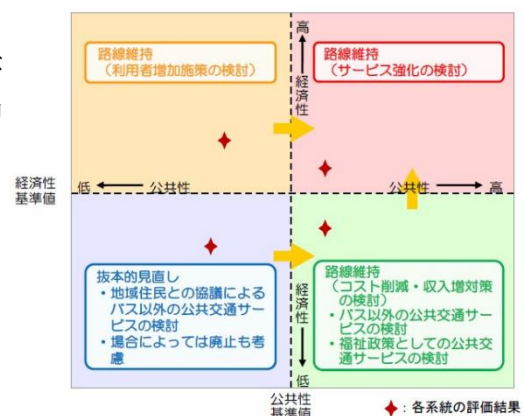
路線の評価は、財政的な側面での評価及び地域住民の移動の手段の確保といった社会的 중요度に関する評価の 2 つの指標を用いて路線ごとに行う。

①経済性評価：利用者 1 人当り行政補助額

基準値 2,000 円/人

②公共性評価：沿線世帯当り年間乗車回数

基準値 2.0 回/世帯



3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

【ねっぴ〜号】(運行事業者：神姫バス(株))

主に中心市街地内の移動を支えるコミュニティバスとして運行。大規模商業施設や観光地、鉄道駅、高速バス停、病院、市役所等の公共施設を結び、市街地内の回遊性を高めるとともに、郊外にある交通結節点と結ぶことにより中心市街地へ行きやすくする役割を担う。また北条町駅から放射状に伸びる鉄道や幹線バスを補完している。

【はっぴーバス】(運行事業者：加西親栄自動車(有))

西在田地区は民間路線バスの撤退後、コミバスが運行されていたが、指定曜日に3便しか運行がなく利便性が低かったことや、高齢化率が他地域と比べて高く公共交通の必要性が高かったことなどから、NPO 法人が運営に関わり、小型車両で万願寺、若井、芥田の3つの谷筋の集落を走り幹線バス停までを繋ぐ「はっぴーバス」を平成23年から運行している。NPO 法人による利用者訪問、地域内での意見聴取や利用促進、フリー降車制度の導入などにより利用者の利便性を高めている。

【計画策定事業】

・調査概要

交通空白地に対応するため、地域の方々が主体となり地域の実情に応じた公共交通を目指す地域主体型交通の導入に向け取り組んでいる。策定事業では、その接続先となる幹線交通等（北条鉄道・路線バス・コミバス）の利用実態や必要とされる輸送量、運行密度に加え、市民の外出需要や移動動向を把握し、現計画をフォローアップする今後のまちづくり方針と整合のとれた公共交通計画の策定を行う。

・協議会の開催

全5回

・策定部会の開催

全8回

・調査結果の概要

幹線交通である北条鉄道と路線バスでは、運行本数の少なさを問題と考える利用者が多い。また、北条鉄道では IC カードが利用できない点や運賃の高さも問題として考えられている。

人の動きでは、市内どの地区でも中心市街地の北条へ外出する方が多く、鉄道沿線である市の南部や東部では加古川市や小野市方面に外出する方が、市の西部では姫路方面へ外出する方が多い。

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
地域内フィーダー 系統補助事業	加西親栄自動車 (有)	R3. 10 ～R4. 9	フ	市北西部の交通空白地域にお けるはっぴーバスの運行
地域内フィーダー 系統補助事業	神姫バス(株)	〃	フ	市街地内の移動と路線バスを 補完するねっぴ～号の運行
計画策定事業	加西市公共交通 活性化協議会	R4. 5 ～R5. 3	策	地域公共交通計画策定に向け た交通調査等の実施

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業
再策：再編計画策定事業、再推：再編計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
法華口駅～鶉野飛行場 跡シャトルバス運行事業 (地方創生推進交付金)	加西市	R3. 4 ～R4. 3	紫電改のレプリカ公開日に合わせ 法華口駅から鶉野飛行場跡までの 二次交通手段として、シャトルバ スを1日 5.5 往復運行
公共交通機関等連携情 報発信事業 (地方創生推進交付金)	加西市	R3. 1 ～R4. 3	コミバスねっぴ～号 4 台にバスロ ケーションシステムを導入し、主 要バス停、待合所 8 か所にデジタ ルサイネージを設置

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
総合時刻表作成配布 事業	協議会	R4. 4	鉄道・路線バス・コミバス・高速バ スの統一時刻表を 18,000 部作成、 全戸配布
市内バス無料乗車券 配布事業	加西市	H28. 11～	高齢者や免許返納者、子育て世帯 等を対象に市内で利用できるバス の無料乗車券を配布
地域主体型交通導入 推進事業	加西市	R3. 10～	日吉地区ふるさと創造会議協と地 域主体型交通導入に向けての協議 を進め、令和4年3月28日より運 行を開始。交通結节点で、コミバス

			との接続を図る。また、賀茂・富田地区にて住民アンケートを実施し、導入に向けた検討を開始
交通結節点整備事業	加西市	R3.9 ～R4.2	九会地区において路線バス、コミバスねっぴ～号の公共交通結節点を整備

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
市内バス無料乗車券配布事業	高齢者（75才以上）や運転免許返納者、子育て世帯等を対象に市内で利用できるバスの無料乗車券を配布	・コミバスの利用者数の増加 ・免許返戻促進
北条鉄道利用促進事業	行違い設備整備後の通勤者を増やすため、通勤定期購入者に地域商品券を配布	新規通勤定期購入者の増加

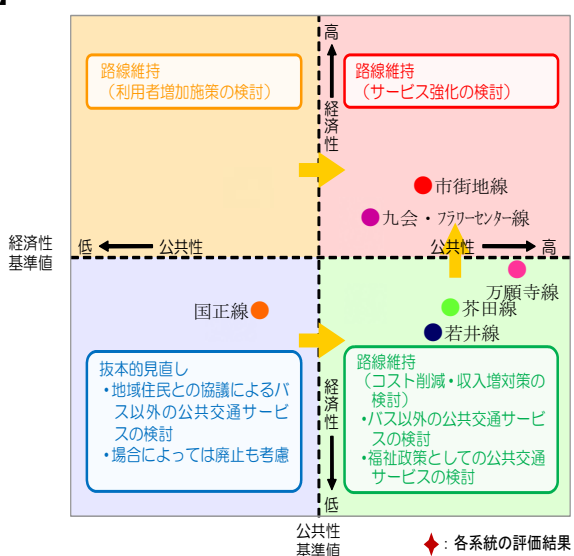
4. 具体的取組に対する評価

【地域内フィーダー系統補助事業の評価】

路線名	経済性評価	公共性評価
ねっぴ～号		
市街地線	1,769 円 (1,574)	3.1 回 (3.6)
国正線	2,795 円 (2,971)	1.0 回 (1.0)
九会・フラワーセンター線	1,787 円 (1,442)	2.2 回 (2.9)
はッピーバス		
万願寺線	2,555 円 (2,416)	5.0 回 (5.8)
若井線	3,659 円 (3,566)	3.4 回 (3.8)
芥田線	2,923 円 (3,452)	3.8 回 (3.9)

※ () 内は前年度評価数値。

※ 経済性評価の算定基礎となる運賃収入は、乗継券・無料乗車券等を収入に換算したものを含む。



＜ コミュニティバス等乗車人員の推移 ＞



コロナ禍であったが運行を維持した結果、利用者は昨年度と比較してねっぴ〜号で595人の増加、はっぴーバスでは236人の減少となった。路線別では、ねっぴ〜号フラワーセンター線とはっぴーバス万願寺線、若井線で減少した。

また、燃料費の高騰や人件費の増加、令和4年4月の地域活性化拠点施設 sora かさいのオープンに合わせ、ねっぴ〜号 sora かさい線（土休日便）の運行を開始したことで令和3年度より運行経費が1.2倍ほど上がっている。これらの影響もあり、経済性評価・公共性評価ともほとんどの路線が昨年度を下回った。経済性、公共性の指標をともにクリアしている路線は、ねっぴ〜号の市街地線と九会・フラワーセンター線の2路線。片方の評価のみクリアできた路線は、はっぴーバス万願寺線、若井線、芥田線の3路線、両評価ともに基準を下回る目標不達の路線は、ねっぴ〜号国正線となった。

上図は、加西市におけるコミュニティバス等の乗車人員の推移である。平成12(2000)年度より平成22(2010)年度まで減少傾向にあったが、平成23(2011)年2月のはっぴーバスの導入及び路線・ダイヤの改正等により乗車人員はコロナ禍を除き増加している。

【計画策定事業】

加西市を取り巻く交通の現状を整理するための基礎資料として、利用者アンケート調査により公共交通の利用実態、改善意向等を把握することができた。また、人の移動動向を分析することで、めざすべき公共交通サービスや必要な交通ネットワークの検討に活用し、協議会で公共交通に関する実態、計画の考え方を協議できた。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
ねっぴ〜号の国正線は、経済性・公共性評価がともに基準値を下回っており、利用者増加施策や路線の縮小の検討などが必要である。	宇仁地区において令和2年10月より地域主体型交通「宇仁ふれあいバス」の運行が始まった。令和2年度は874人、令和3年度は1,071人（197人増）の利用があり、全体としてフィーダーの利用人数は増えてきている。今後はねっぴ〜号国正線だけの評価ではなく、宇仁ふれあいバスを含めた評価を行いながら、宇仁地区の移動困難者の解消と地域全体のサービスが向上するように役割分担を検討していく。
はっぴーバス3路線ともに公共性評価は高いものの、経済性評価が基準値を下回っており、さらなる収入増加や利用者の増加施策の検討が必要である。	運営受託NPO法人が実施する配食サービスにあわせてPRを行うとともに高齢者等への訪問活動やシニアクラブへの広報を実施し、新規利用者の開拓を行う。 また、地域の小学校とSDGsに関する学習を通して、はっぴーバスの利用者増加施策について意見交換を行うなど、幼少期より地域公共交通に対する意識の醸成を図る。 これらの取組をきっかけに様々な学習・交流の場を通して地域の生活の見直しを行い、延いては地域の公共交通利用者数の増加に繋げる。

加西市公共交通活性化協議会（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
適切に事業を実施し、目標・効果が達成されたことは評価できる。 今後も、沿線の新規利用者の開拓、利用状況及び利用者ニーズの把握・分析等を行うことにより、地域に見合ったより効果的な利用促進につながることを期待する。	・新規利用者の開拓について交通事業者とともにバス乗車体験などを行い、周知活動を積極的に展開する。 ・地域主体型交通について、地域のまちづくり協議会と、協議を重ね、運行に向けて積極的サポートを行う。	・公共交通の利用状況等を引き続き把握するとともに、これまでの成果を活かしてモビリティマネジメントにも力を入れ、利用継続の促進や新規利用者の開拓を引き続き行う。

2. アピールポイント、特に工夫した点など

- ・コロナ禍において外出者が減少した中でも、必要なサービスを維持するために、ねっぴ〜号、はっぴーバスともに減便することなく、コロナ対策を万全にして、生活交通の維持向上に努めた。
- ・後期高齢者、免許返納者や子育て世帯等を対象とした無料乗車券を継続的に発行し、制度周知が図られてきたこともあり、コロナ禍でも利用者の増えた路線があった。
- ・公共交通が移動の選択肢に上がるよう、より具体的な情報提供を行うため、各交通機関の時刻表を統一し、利用方法などを案内する公共交通総合ガイド『かさい・おでかけ・ナビ』を作成し、全戸配布した。
- ・令和4年4月に地域活性化拠点施設 sora かさいのオープンに合わせ、市街地から市内観光地を巡る観光便としてコミバスねっぴ〜号に土休日ダイヤを導入。また、市役所正面口にバス停を新たに設けるなど市民の利便性向上を図った。
- ・安心してコミバスねっぴ〜号に乗車できるように、バスロケーションシステムを導入し、乗降者が多いバス停、待合所にデジタルサイネージを8か所設置した。
- ・地域主体型交通の導入について、地域団体と検討会議を何度も行い、R2年10月から宇仁ふれあいバス、R4年3月から日吉地区乗り合いタクシーがそれぞれ運行を開始し、既存コミバス路線との連携による利便性の向上を図った。また、新たな地区で住民アンケートを行い、地域主体型交通導入について検討を始めた。
- ・協議会等を通じ、現状把握を行いながら、関係者間での意思疎通を図りつつ、計画に定めるPDCAを実施している。

令和3年度実施事業報告

【協議会事業】

① 加西市公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」作成

コミバスねっぴ〜号やはッピーバス、北条鉄道、路線バス、高速バス、地域主体型交通の時刻表や運行経路、乗り場案内に加え、京阪神・関西3空港への行き方、市内施設マップなど暮らしの便利情報を掲載した市内公共交通の総合ガイド「かさいおでかけナビ」とそのポケット版を更新作成しました。各公共交通機関をマップ化することで、市内外への移動情報をわかりやすく提供し、公共交通の利用促進を図りました。

令和4年3月発行

作成部数：冊子（18,000部）※全戸配布

ポケット版（3,000部）

作成費用：2,041,600円（時刻表変更等データ更新費＋印刷費）

※ポケット版（171,600円）はR4年度予算から支出



② 地域主体型交通導入支援事業

日吉地区ふるさと創造会議おでかけ部会と地域主体型交通導入及び運行にかかる検討会議を開催

- 6月 8日（火） 地域主体型交通アンケート調査結果の報告、地域主体型交通の導入に向けた検討開始、運行形態について協議
- 7月13日（火） 運営補助、車両、バス停、運転手について協議、実施主体での部会設置状況について確認
- 8月17日（火） オンデマンド交通システムについて協議
- 11月11日（木） 運行形態、車の仕様、オンデマンド交通システム、オペレーター委託先について協議
- 12月 2日（木） 運転手の確保、オペレーター委託先、バス停、車両の入札状況について協議。名称の決定。
- 12月23日（木） 西脇市にオンデマンドシステム「コンビニクル」視察。運転手講習、車両の入札状況について確認
- 12月27日（月） 神姫バス主催の自家用有償旅客運送運転講習を3名受講
- 1月11日（火） オンデマンド交通システム「コンビニクル」契約締結（順風路（株））
- 1月12日（水） オペレーター委託先、登録申請について協議
- 1月20日（木） 神姫バス主催の自家用有償旅客運送運転講習を2名受講
- 1月21日（金） オペレーター委託先の決定、登録申請、利用者登録、車両ラッピングデザインについて協議

- 1月27日（木） 第43回加西市公共交通活性化協議会にて承認
- 2月 2日（水） 国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門に自家用有償旅客運送の登録申請
- 2月22日（火） 運転手・オペレーター講習、乗継券等印刷物、出発式について協議
- 3月 1日（火） 納車
- 3月 3日（木） 運転手・オペレーター講習の実施
- 3月 7日（月） 自家用有償旅客運送者登録証交付「神兵交第10号」
- 3月15日（火） テスト運行（1回目）
- 3月16日（水） 利用者登録状況等について協議
- 3月17日（木） テスト運行（2回目）
- 3月22日（火） オペレーション業務委託契約締結（しんいずみ運送）
- 3月23日（水） テスト運行（最終）
- 3月28日（月） ひよタク出発式（日吉地区ふるさと創造会議事務所 10:00～）。試験運行開始



※ 令和3年度の運行実績は、運行日数が少ないため次年度実績と併せて報告します。

宇仁郷まちづくり協議会に地域主体型交通運行支援を行った。

富田地区まちづくり協議会、賀茂地区ふるさと創造会議が「地域主体型交通導入の手引き」に基づき、富田・賀茂地区住民に対して地域主体型交通アンケート調査を実施。その集計業務を行った。

③ 免許返納者バス無料乗車券配布

加西交通安全協会にお願いし、免許返納申請者へ、総合時刻表「おでかけナビ」とバス無料乗車券の配布を依頼

免許返納者数 H29年 159人、H30年 193人、R元年 214人、R2年 231人、R3年 216人

④ 北条鉄道播磨下里駅に駐輪場増設

播磨下里駅は、高校生の通学利用が多く既存の駐輪場だけでは自転車が入りきらず野ざらしで駐輪されている状況であったため、新たに12台分の駐輪場を整備し、併せて防犯灯を兼ねたLED灯を設置した。

工事費：駐輪場増設 578,000円

LED灯設置 48,000円

※JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会のR3年度地域利用促進事業助成金を活用（助成額：500,000円）



11月完成

【市交通政策事業】

⑤ 九会地区公共交通ネットワーク地域拠点施設整備事業

九会地区の公共交通の利便性向上のため、国道 372 号線沿いにバスベイを整備し、交通結節点とした。工事費 10,107,900 円



⑥ 北条鉄道キハ 40 形車両導入事業

法華口駅行き違い設備が完成し、朝・夕の増便に伴う車両不足を解消するため、JR 五能線で引退したキハ 40 形を新たに導入した。鉄道ファンに人気のある車両は、北条鉄道の付加価値の向上と地域への誘客促進を担っている。

また、観光庁補助、クラウドファンディングを活用し、導入経費の抑制に努めた。(事業費 29,260 千円のうち、国 8,350 千円、クラウドファンディング 3,408 千円、市 17,502 千円を補助)



⑦ 公共交通機関等連携情報発信事業

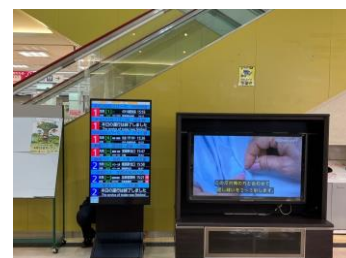
令和 2 年度に整備したバスロケーションシステムの機能を拡張し、利用者の携帯端末・パソコン端末の画面ブラウザ上に、バスの位置情報等を閲覧可能とするシステムの構築。また、新たに市内 3 か所にデジタルサイネージを追加設置。(屋内：加西市役所、加西市健康福祉会館、アスティアかさい)



市役所 1 階ロビー



健康福祉会館 1 階



アスティアかさい 1 階

⑧ 北条鉄道利用促進事業

法華口駅行き違い設備完成1周年記念として、R2年度に引き続き、北条鉄道の通勤定期を3か月以上購入された方に定期金額の1/3相当の地域商品券を配布するキャンペーンを実施。

令和3年8月～12月まで実施し、購入者39人（内新規17人）

※前年比△8人（新規△8人）



⑨ 法華口駅鶉野飛行場跡間シャトルバス運行事業

第1・第3日曜日の紫電改レプリカ公開に合わせて、北条鉄道法華口駅から鶉野飛行場跡備蓄倉庫まで無料シャトルバス（中型バス）を運行。加西親栄自動車に委託し、一日5往復半。19日間運行し、合計815人が利用。1便平均4.0人

⑩ 福崎町・加西市連携コミバス事業

令和3年4月6日より福崎町コミバスサルビア号が加西市へ乗り入れ。火・木曜日の1往復半。三木穴栗線沿線の加西市民も利用可能。100日間運行し、合計42人が利用。1便平均0.14人

⑪ 新型コロナウイルス対策支援

兵庫県地域公共交通新型コロナウイルス感染症対応型運行支援事業に随伴して補助を実施
北条鉄道 301,000円、神姫バス 332,000円、ウエスト神姫 48,000円

⑫ 公共交通連携における実態調査事業

令和4年春オープン of 鶉野飛行場跡地地域活性化拠点施設「sora かさい」、アスティアかさい屋内型遊戯施設及びテレワークセンター「アスも」や九会中野地区に整備する公共交通結節点など、地域住民や観光客の市内流動人口の増加が予想されることから、市内を運行するコミバス、路線バス、地域主体型交通、鉄軌道の利用者、利用時間、利用場所等の実態把握のためのアンケート調査を実施。調査結果をもとに、公共交通機関が連携し、より利便性の高い時刻表、ルートの再編を行うなど、誰もが安心して利用しやすい公共交通情報の発信につなげた。

事業費 5,104,000円

⑬ 北条鉄道車両型菓子箱キハ40形を追加製作

加西ブランド協議会が、北条鉄道支援を兼ねて、ドーナツ用の車両型菓子箱にキハ40形菓子箱を追加製作



加西市は、北条鉄道の法華口駅に行き違い施設が完成して1周年となるのを記念して、通勤定期の購入者に商品券をプレゼントするキャンペーンを始めている。新規では購入額の3分の1相当の「ねっぴ〜商品券」をプレゼントする。

行き違い施設の整備で、朝の通勤、通学時間などに増便し、約30分間隔で運行できるようにした。通勤利用は増加傾向にあり、今回のキャンペーンは、完成1周年を記念し、さらに通勤利用を増やすことに加えて、

通勤定期購入者に 商品券プレゼント

北条鉄道

新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける地域経済の回復を狙っている。

対象は、同鉄道北条町駅で期間中、3カ月以上の通勤定期を購入した全員が対象。新規購入では定期券の3分の1（千円未満切り捨て）の商品券を贈呈する。北条町一粟生駅間で6カ月定期（9万4450円）を購入した場合、3万1千円分の商品券がもらえる。一方、継続購入の場合でも5千円分の商品券を進呈する。

商品券を贈るキャンペーンは去年も実施しており、今年1月以降に定期を新規購入した通勤客も今回のキャンペーンで「新規購入扱い」とする。

12月31日まで。同市人口増政策課 ☎0790
・42・8700 （小日向務）

加西市と小野市を結ぶ北条鉄道に新たな車両が搬入された。旧国鉄時代に製造されたディーゼル車両「キハ40-535形」で、希少な白と青のカラーリングが鉄道ファンのお話を集める。点検、試

験走行を経て来年3月に運行を開始する予定で、同鉄道は「当面は観光やイベントなどを中心に運用していきたい」と集客に期待を寄せる。

(小日向務)

東北から長旅 北条鉄道へ

キハ40形に集客期待

新たな車両は秋田県や青森県を走る五能線で運行され、今年3月に引退。秋田港(秋田市)から敦賀港(福井県)に海路で運ばれた後、陸路で11日午前2時すぎ、加西市に到着、北条鉄道播磨横田駅(同市西横田町)に搬入された。

ネット上で
資金募集
1302万円集まる



つり上げ

クレーンでつり上げられる「キハ40」。線路に用意された台車の上に移された。加西市西横田町

別の車両に挟まれて移動＝加西市西横田町

挟まれて

近くの公園に仮置きされていた。最終列車が通過した後の同日午後11時40分ごろ、線路に移す作業が始まった。キハ40-535形は全長約21メートル、重さ約38トン。仮置き場から線路横に移動した後、クレーン2台でつり上げ、陸送用に付けられていたタイヤ付きの台車を外した。そのまま持ち上げ、線路に用意されていた車輪付き台車に載せられた。その後別の車両が前後を挟み、北条町駅に運んだ。今後、走行点検や運賃箱設置などの整備を施す。運行開始予定は3月13日で、

車庫到着

北条町駅に到着、車庫に収められた＝加西市北条町北条



当日は車両をお披露目するイベントが計画されている。車両購入のため、同鉄道は9、10月にクラウドファンディングを実施。当初の目標額300万円の4倍を超える1302万円を集めた。同鉄道は「まず購入に協力してくれた人たちに乘ってもらえる機会をつくりたい」と話している。



お待ちせ「キハ40形」再出発



東北で引退、北条鉄道が導入

国鉄時代に製造されたディーゼル列車「キハ40形」が13日、加西市と小野市を結ぶ北条鉄道で再出発した。かつて東北地方で走行していた白地に青の車両は、老朽化に伴い多くが引退。希少となった列車を同鉄道が譲り受け、再び汽笛を鳴らした。

1979年に製造され、約40年間、JR東日本五能線（秋田県―青森県）を運行した同車両は昨年3月に引退。朝夕の増便のため新たな車両を求めていた北条鉄道が購入した。白地に3本の青線が入ったJR時代のデザインは変わらず、車内に掲示された東北地方の路線図も残した。

13日は式典に続き、午前11時9分の第1便から計3便が特別運行。事前に申し込んだ計108人が乗車し、約50分をかけて北条町駅から粟生駅（小野市）までの単線13・6キロを往復した。神戸市垂水区の安田啓志さん（26）は「五能線は自然豊かで憧れの路線。親しみがある北条鉄道で乗れるのはうれしい。直角の座席に歴史を感じる」と笑みを浮かべた。

定期運行は16日から始まり、北条町―粟生間を1日最大17往復する予定。

（敏蔭潤子）

北条鉄道で再出発したキハ40形＝13日午後、加西市東笠原町沖

加西のコミュニティバス 「ねっぴ〜号」に新路線

加西市はコミュニティバス「KASAIねっぴ〜号」の新路線を開設する。新設する市地域活性化拠点施設「soraかさい」や遊戯施設とテレワークセンターの融合施設「アスモ」

（アスティアかさい2階）などを結ぶ。市域などの交通網形成のため、市地域交通計画も策定する。

関連費用の予算案を同市議会3月定例会に提出している。

新路線「soraかさい線」は、観光客の利用も見込み、土曜、日曜日に運行。玉丘史跡公園やJA兵庫みらいの直売店「愛菜館」、

「
S
O
r
a
か
さ
い
」
な
ど
結
ぶ

県立フラワーセンターなども経由する。同市中野町に昨年オープンした複合商業施設などに停車するねっぴ〜号九会線を増便し、soraかさいを通るルートに変更する。

さらにねっぴ〜号や、ハッピーバス、地域主体型の宇仁バスなどが乗り入れる中富口バス停が手狭となっているため、今後の公共交通結節点整備に関して調査する。北条鉄道や路線バスに加え、コミュニティバスの路線改善、地域主体型交通などを踏まえ、次期同市地域公共交通計画も策定する。（小日向務）

乗り合いタクシー始動

加西・日吉地区 高齢者向け、1回200円



事務所を出発する日吉地区乗り合いタクシー＝加西市西野々町

運転免許を持たない高齢者らを自宅から目的地まで

送る乗り合いタクシー（ひ

よタク）の試験運行が28日、加西市日吉地区で始まった。出発式では、運営するまちづくり組織「日吉地区ふるさと創造会議」の松尾認会長が「高齢ドライバーの事故防止、同居する家族

の負担減につなげ、住みよいまちにしたい」とあいさつした。

校区内を走り、校区外にあるスーパー、コミュニティバスと高速バスの停留所計3カ所も結ぶ。利用者は、ひよタク事務所で事前登録し、1週間前～前日までに予約する。1回200円。

同会議は区長会や老人会、PTAなど地域の各種団体で構成。交通手段に関する住民アンケートを実施し、買い物や通院に困っている高齢者が多いことが明らかになり、乗り合いタクシーの導入を進めた。

国から「公共交通空白地有償運送」に認められ、市から軽自動車2台を無償貸与された。運転手は住民から募集し、時給千円を支払う。運営費は乗車収入と市からの助成で賄う。利用者

の予約は電話で受け付け、地元の運送会社に業務委託した。

5月2日から本格運行を予定。利用する30分前までの当日予約も可能になる。運転手の藤本隆文さん（65）は「乗って便利だった」と口コミで広がり利用者が増えるように頑張りたい」と話した。

運行、予約とも平日午前8時～午後4時。ひよタク事務所 ☎080・3102・1419 （敏蔭潤子）

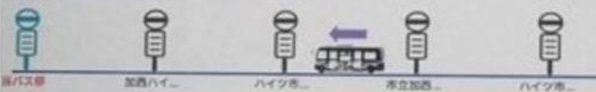
コミバス「ねっぴ〜号」あすから全バス停 遅れ、出発時刻 スマホで確認

加 西 加西市は10月1日、市コミュニティバス「KASAI ねっぴ〜号」の運行情報を知らせるサービス「#らっきゃ」を始める。スマートフォンやパソコンを使い、市内82カ所のバス停で、定刻からの遅れや出発予定時刻を確認できる。

各バス停に設置されているQRコードを読み取り、接近情報サービス「#らっきゃ」の画面を開いて、バス停名を入力すると、時刻と接近中のバスの位置が表示される。市ホームページ、LINE（ライン）からも接続できる。

ねっぴ〜号4台に衛星利用測位システム（GPS）の機器を搭載し、運行情報を把握している。

市は2020年度から、利用者の多

022/09/28 14:48現在 30秒ごとに自動更新	
市街地線 高速北条バス停前ゆき	14:50 出発予定
	定刻: 14:49 (1分遅れ)
	
市街地線 イオンモール加西北条ゆき	15:24 出発予定
	定刻: 15:24 (遅れなし)

いバス停や施設計8カ所に電子掲示板を設置し、バスの遅れや発車時刻を表示。今回は市内全バス停にサービスを拡大した。市は「乗る予定のバスが出発したのかどうかという不安を解消できる」と利用を呼びかけている。

市人口増政策課 ☎0790・42・8700
(敏蔭潤子)

バス停から出発時刻や遅れが表示されるサービス「#らっきゃ」

KASAI ねっぴ〜号 接近情報サービス

#らっきゃ

これ見たららっきゃ! 待たずにらっきゃ! どこでもらっきゃ!



無料でつかえます
※画像はイメージです

加西市人口増政策課 0790-42-8700

<A4 チラシ>

北条鉄道テレビ放送まとめ

- NHK総合 「ロコだけが知っている」

～ローカル線SP～

放送日：2022年4月27日



- NHK BS1 「沁みる夜汽車」

～鉄道を舞台にした、心が温まる実話を伝える番組～

放送日：2022年6月10日



- BS11 「私たち鉄印帳はじめます」

～鉄印を求めて全国を巡ります～

放送日：2022年6月28日

第38回 兵庫県 北条鉄道

出演：白田あさ美、太田莉菜

27個目の鉄印を求め、白田あさ美・太田莉菜ママ友コンビが豊穡の国・播磨に行く「兵庫・北条鉄道」へ。そこには鉄道愛、地元愛にあふれた名店がいっぱい。全国的にも珍しい「駅舎のパン屋さん」や駅から徒歩0分で行ける「絶品石窯ビザ」、彩り豊かな花が咲き誇る「フラワーセンター」など大人女子の心を満たすローカル線の旅を満喫します。



- MBS毎日放送 「よんちゃんTV」

～赤字ローカル鉄道に乘客急増の“救世主”～

放送日：2022年10月28日



地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価

令和5年1月 日

補助事業者名: 加西市公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 新型輸送サービス導入支援事業(AIオンデマンド交通の導入)

①事業の結果概要	
(事業の実施内容、結果の概要等を記載)	
日吉地区の自家用有償旅客運送(日吉地区乗り合いタクシー)の運行に当たり、AIオンデマンドシステム「コンビニクル(順風路(株))」を導入し、予約・配車業務に活用している。	
②事業実施の適切性	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の計画に沿って、事業が適切に実施されたかどうかを定性的に記載)
A	事業計画に基づき、R4年1月オンデマンド交通システム「コンビニクル」の契約を締結した。以後、オペレーター委託先の決定、運転手やオペレーターへの講習を2回実施し、3月28日から実証運行を開始した。
③目標・効果の達成状況	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の目標値の達成状況等を定量的に記載)
C	【目標】日当たりの利用者数9人(3年後(R7))は26人/日) 令和4年3月28日から実証運行を開始し、同年5月2日から本格運行へ移行。 12月末時点の利用者数は累計457人、日当たりの利用者数は2.5人と目標を下回った。 ※別紙「運行実績」参照
④今後の改善点	
(目標値の達成状況等を踏まえ今後の改善点や、取組内容等を記載)	
累計で見ると目標を大きく下回っているが、4月の運行当初、利用者数1.6人/日であったものが12月は3.8人/日と少しずつ利用者数を伸ばしていつている状況である。運行主体の日吉地区ふるさと創造会議による地域住民への広報活動、町内巡回によるPR活動などの取組によるものと解する。 今後は、前述の取組に加え、地域のイベントとの連携や小・中学生の課外活動の送迎を担うなど新規利用者の開拓に努め、目標値の達成を目指す。	

※事業実施の適切性における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、概ね適切に実施された
 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった点もあったが、それに対する課題の整理が図られた。
 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

※目標・効果達成状況における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成した(する見込み)
 B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
 C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)

日吉地区乗り合いタクシー（R4.3.28運行開始）

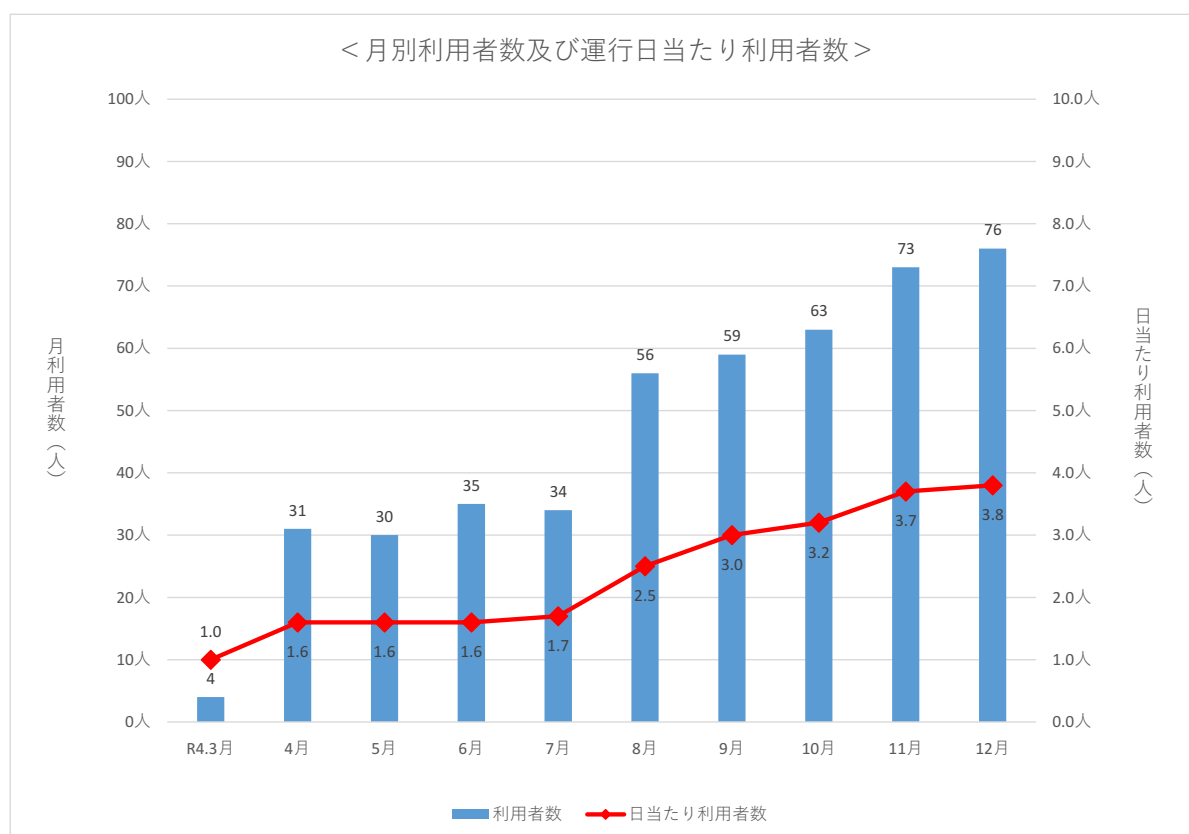
月別利用者数及び運行日当たりの利用者数

令和3年度（R4.3.28運行開始）

	運行日数	利用者数	日平均	運賃収入
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月	4日	4人	1.0人	2,800円
計	4日	4人	1.0人	2,800円

令和4年度

	運行日数	利用者数	日平均	運賃収入
4月	20日	31人	1.6人	9,800円
5月	19日	30人	1.6人	7,400円
6月	22日	35人	1.6人	6,600円
7月	20日	34人	1.7人	7,600円
8月	22日	56人	2.5人	11,400円
9月	20日	59人	3.0人	12,200円
10月	20日	63人	3.2人	17,400円
11月	20日	73人	3.7人	13,000円
12月	20日	76人	3.8人	11,800円
1月				
2月				
3月				
計	183日	457人	2.5人	97,200円



**加西市日吉地区オンデマンド交通システム
初期導入 成果物**

令和4年3月

目次

1. 条件設定・運営準備	2
(1) 初期条件整理	2
(2) システム画面	2
(3) 周辺機能設定	4
(4) バス停データ投入サーバ設定	5
(5) 運行条件登録	6

1. 条件設定・運営準備

(1) 初期条件整理

証明書

クライアント証明書 × 5 ブラウザに設定

ID/PW 発行

オペレータツールログイン ID×6 個発行

車載器

車載器× 3 台（予備器 1 台含む）

(2) システム画面

オペレータツール

<https://c.casv.jp/ot/>

(クライアント証明書ブラウザにインストールした端末から接続可能)

・ 運行管理画面

兵庫県加西市 巡回地図 2022/03/28 (車両位置は本日データを参照しています)

表示対象: 1号車 更新

白黒 地図 航空写真

+

-

人

巡回先乗降車場

- 10:00 加西市河内町714
- 10:09 ひよタク事務所
- 10:19 プチマルシェ
- 10:30 ひよタク事務所
- 10:39 加西市河内町714

蓬萊山 普光寺

タカガワオーセント
ゴルフ倶楽部

加西インター
カントリークラブ

イオンモール加西北条
北条町

丸山総合公園

播州東洋ゴルフ倶楽部

播磨横田

長

多聞寺

青野運動公園アオノ
スポーツホテル

青野運動公園
アオノゴルフコース

陸上自衛隊 青
野原駐屯地

青野ヶ原

ふじいでん
さいくるら

兵庫県
中央

Google

多間寺

兵庫県立
フラワー
センター

エナジ&...

社町

高岡北条

369

24

410

372

718

371

E2A

79

145

370

145

14

2022/03/28

1 km

2022/04/01 (金)

今日明日明後日

友達乗合予約

利用者情報

予約追加
受付予約追加

詳細

加西市河内町714
中富口バス停
ひよタク事務所

地図 自宅 カテゴリ 履歴

16 : 55 現在 出発 到着

近い時刻

計 1 名 (1 + 0 + 同 0) 滞 1 分
1 分

車両指定 おまかせ

検索

詳細

加西市河内町714
中富口バス停
ひよタク事務所

地図 自宅 カテゴリ 履歴

予約 利用履歴

▼乗車日で並替 ▼予約日で並替 予約件数 0/6

運行ログサイト

<https://c.casv.jp/cgi/data/login.cgi>

(クライアント証明書ブラウザにインストールした端末から接続可能)

・集計データ画面

集計データ

期間データ

CSVダウンロード

地域比較

集計項目詳細

お知らせ

日別

月別

累積

2022年03月31日(木)

登録状況

基本情報

項目	人数	詳細
新規登録者数	0	選択日に登録された人数
利用登録者数	1	選択日に利用している登録者の数

予約状況

基本情報

項目	件(人)数	詳細
予約検索数	6	予約検索数
諦め予約数	4	予約検索のみで確定されなかった件数
予約確定数	2	確定された予約の件数(キャンセルを含む)
予約成立率	33%	予約が確定された割合
キャンセル数	1	キャンセルされた予約の件数
運行予約数	1	運行された予約の件数(キャンセルを除く)
乗車人数	1	運行予約の乗車人数(キャンセルを除く)
友達乗合予約数	0	友達乗合機能が使用された予約の件数
同乗者予約数	0	同乗者予約機能が使用された予約の件数
号車変更数	0	号車変更機能が使用された予約の件数

受付時間帯別検索数

時間帯	検索数	割合
0時台	0	0%

端末種別予約数

端末種別	予約数	割合
オペレーターツール	1	100%

希望と予約時間の差

差	件	割合
-60分以上	0	0%
-60分以内	0	0%
-50分以内	0	0%
-40分以内	0	0%
-30分以内	0	0%
-20分以内	0	0%
-10分以内	0	0%

事前予約状況

時間	件	割合
30分以内	0	0%
30分前	0	0%
1時間前	0	0%
2時間前	0	0%
3時間前	0	0%
4時間前	0	0%
5時間前	0	0%

(3) 周辺機能設定

・運行エリア

エリア記号	エリア名
A	日吉地区
B	地区外

・車両の運行制限

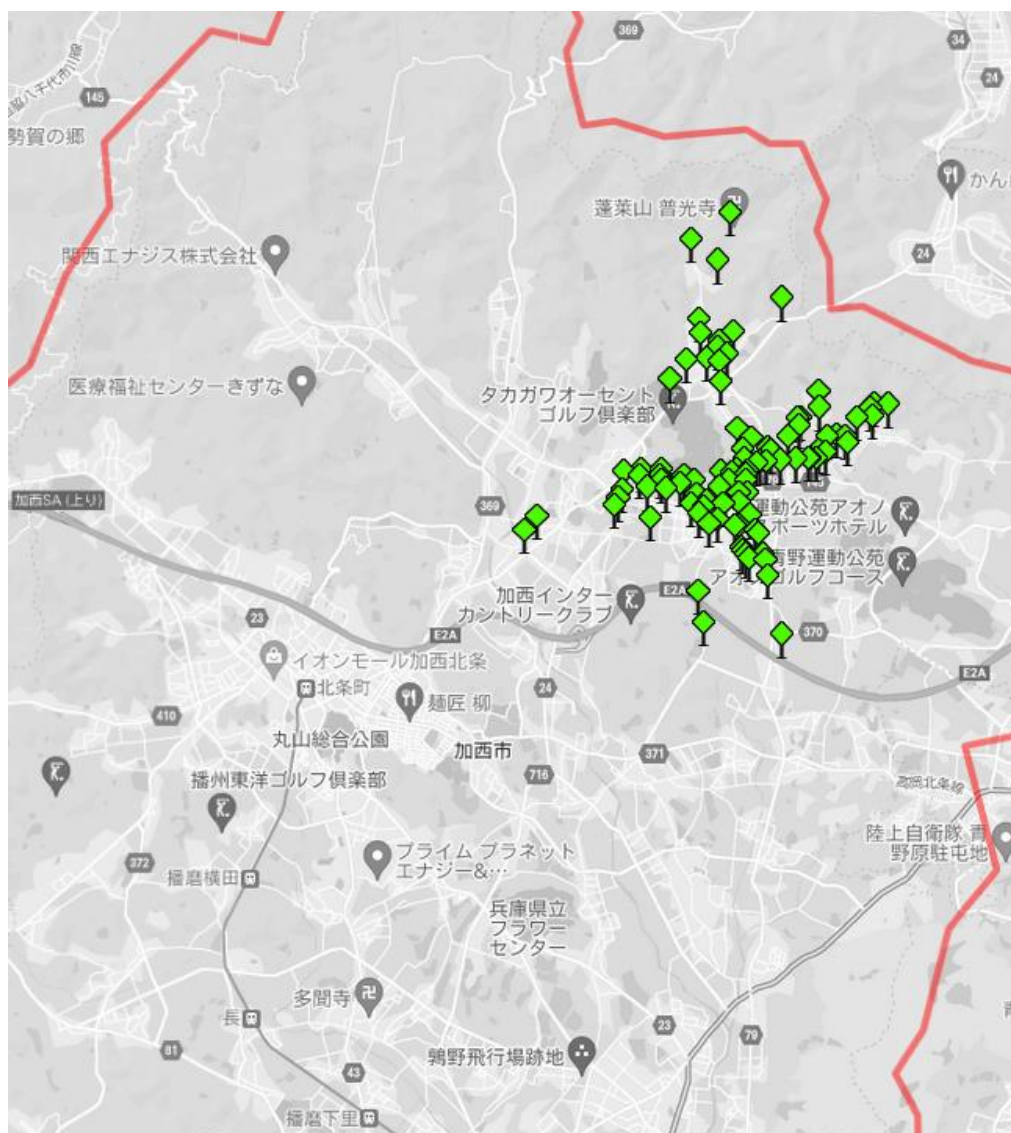
→		
↓発	着	A B
A	○	○
B	○	×

(4) バス停データ投入サーバ設定

乗降場

- ・ 共通乗降場：100か所
- ・ 自宅乗降場：70か所（2022年3月31日現在）

乗降場登録箇所(共通乗降場のみ)



(5) 運行条件登録

兵庫県加西市デマンド型乗合タクシー 運行設定

バス名称	日吉地区ふるさと創造会議地域主体型交通「ひよタク」	
運行	開始日	令和 4年 3月 28日 (月)
	運行・運休日	運行：月 ～ 金 運休：土日祝日、年末年始12/30-1/3
	運行時間	7:40 ～ 16:30 (7:40乗車可 16:00最終乗車)
予約	受付開始日	令和 4年 3月 22日 (火)
	受付日(曜日)	月 ～ 金 土日祝日、年末年始除く
	受付時間	8:00 ～ 16:00 休憩12:00～12:30
	受付期間	7日前 より予約受付
	直前受付	前日予約(4月いっぱい) →最終的には乗車30分前まで(設定は30分前)
	キャンセル(初期設定：15分)	乗車30分前まで (設定は0分)
	上限数	6 件
車両 & 車載器	運行台数	2 台
	最大乗車人数 (ドライバ除く) ※号車ごとにご記入ください	タント 3 名
	車載器タイプ	Lenovo 2台 最初は1台で運行 繁忙が出てきたら2台(設定は2台)
	予備端末 台数	1台
	管理者 設置・交換時送付場所	ふるさと創造会議事務所 西野々町80番地 車庫
	出庫・帰庫 時間 & 場所	設定なし
	車両の休憩時間	1号車 ～ 2号車 ～
その他	バス料金	200円 保護者同伴の未就学児0円
	滞留時間	乗り： 1 分 降り： 1 分
	自宅乗降場	有
	CTI機器使用の有無	無し (台) 携帯電話

利用者：日吉地区住民とその親族
 ドライバーさんの一時的な補助は可能
 車いすは不可
 自宅⇄自宅は不可

《備 考》

- ・料金は乗車時に支払
- ・乗車時間から3分過ぎたら連絡なしで出発
- ・領収書を用意
- ・中富口バス停で路線バスに乗り継ぐ場合は、往復バス無料券を渡す